

ぶんかざいまるちなび

文化財知ナビ

No.16

とくべつてんねんきねんぶつ さわ 特別天然記念物に触ったよ！

ぶんかざい そうごうがくしゅう じかん と い しょうがっこう と く しょうかい
文化財を総合学習の時間に取り入れている小学校の取り組みを紹介します。

くしろしりつあかんこしょうがっこう せいそくちけんがくがくしゅう ～釧路市立阿寒湖小学校のマリモ生息地見学学習～

くしろしりつあかんこしょうがっこうでは、まいとし ねんせい たいしやう
釧路市立阿寒湖小学校では、毎年6年生を対象にマリモ保護会と前田一步園財団の協力をいただき、特別

てんねんきねんぶつ「あかんこ かんさつがくしゅう じっし
天然記念物「阿寒湖のマリモ」の観察学習を実施しています。立ち入り制限区域として、普段は地元住民も入

ることのできない場所での体験は、子どもたちにと
って、大変貴重なものとなっています。

ことねんどは がつ にち すい じつし がっこうまえ しゅっぱつしき
今年度は5月30日(水)に実施。学校前で出発式
を終えた子どもたちは、あかんこほくぶ
湾に着くと、釧路市教育委員会の学芸員の方から



マリモの生態など
についての説明を

うけたあと、こがんにうちあげられたマリモに触れ、なかくうどう
受けた後、湖岸に打ち上げられたマリモに触れ、中が空洞であることやマリモの
ひょうめん ようす かんさつ
表面の様子などを観察しました。その後、2班に分かれ、ボートから湖底にあ
るマリモの観察や湖岸に打ち上げられたマリモを湖に戻す作業、湖岸清掃を
かんさつ こがんにうちあ みるずみ もと きぎょう こがんせいそう
行いました。その後、マリモの群生が最初に確認されたシュリコマベツ(阿寒湖
せいぶ いどう ほごかい かた
西部)に移動し、マリモ保護会の方からシュリコマベツのマリモが絶滅した経緯
や再生に向けた取り組みなどの話を聞きました。子どもたちは、この体験を基

そうごうてき がくしゅう じかん
に総合的な学習の時間でマリモについて調べたことをまとめていく予定です。

あかんこしょうがっこう ちいさき かたがた きょうりょく え じもと たから かんさつ けいぞく
阿寒湖小学校では、これからも地域の方々の協力を得ながら、地元の宝であるマリモ観察を継続していく
ことによって、子ども一人一人に環境を守ることの大切さやマリモの保護に対する気持ちを育んでいきたいと
かんが
考えています。



きた いせき あんない 北の遺跡案内

みなさんの住んでいる近くに土器や石器などの埋蔵文化財が埋まっている遺跡(埋蔵文化財包蔵地)があることをご存じですか。今回は、インターネットで埋蔵文化財包蔵地の場所が簡単にわかる埋蔵文化財情報システム「北の遺跡案内」を紹介します。

◇ 「北の遺跡案内」のページ

http://www2.wagamachi-guide.com/hokkai_bunka/



市区町村・地図・遺跡の名前や種類、時代から検索できます。

ために「札幌市中央区」の「C45遺跡」を試してみよう。

赤く表示されている所が埋蔵文化財包蔵地です。

道庁や赤れんが庁舎、北大植物園が埋蔵文化財包蔵地であることがわかります。

遺跡名をクリックすると、その遺跡の所在地、時代、出土遺物などの情報が表示されます。

みなさんが住んでいる周辺に埋蔵

文化財包蔵地があるか捜してみ、昔の人々がここで暮らしていたんだと思いをはせてみてはいかがでしょうか。



ぶんかざいほごきょうちようしゅうかん 文化財保護強調週間

文化庁は、毎年11月1日から7日までの1週間を「文化財保護強調週間」と定めています。この期間中には、文化財に親しむことを目的として、歴史的建造物や美術工芸品の特別公開、文化財ウォーク、伝統芸能発表大会などの様々な行事が開催されます。詳しくは次のホームページをご覧ください。

◇ 文化財保護強調週間のホームページ（文化庁）

<http://www.bunka.go.jp/bunkazai/aigo/hogoweek.html>

せかいいさん きた じょうもん てん ◇世界遺産をめざして—北の縄文・パネル展2012



かみかわかない しゅつど どき せつき てんじ
上川管内で出土した土器や石器を展示すると

ともに、縄文文化を解説したパネルなどにより

「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」

を紹介しています。

がっぴ がつ にち にち どにち のぞ
月日:11月 6日～15日(土日を除く。)

じかん
時間: 8:45 ~ 17:15

かいじょう かみかわそうごうしんこうきょく
会場:上川総合振興局

ほんねん がつ どうちよう かい かいさい てん
本年10月、道庁1階で開催されたパネル展

北海道教育委員会では、道内の文化財についての情報を、次のホームページで公開しています。また、文化庁では全国の文化財のデータベースを公開しており、全国の文化財情報を検索することができます。道内の文化財の情報も多数掲載されていますので、皆さんの身近にある文化財を見つけてみましょう。

◇ 北海道教育委員会文化財・博物館課「北海道の文化財」
<http://www.dokyojoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo.htm>

◇ 文化庁「文化遺産オンライン」
<http://bunka.nii.ac.jp/Index.do>

□ このニュースターは、「文化財に親しむ機会の提供に関する事業」の一つとして、身近な文化財情報をはじめ、文化財を活用した事業などの紹介を行っています。ぜひ、学校教育や生涯学習の場で広くご利用ください。

文化財ニュースター 文化財まる知ナビ No.16

発行 平成24年11月5日 編集・連絡先 北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

とあ 【お問い合わせはこちらへ】 でんわ 電話 011-231-4111 (内線) 35-620 メール kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp